



つながりあう安心、笑顔が輝くくらし

コープみえ サステナビリティ レポート

2021



コープみえキャラクター
みえっぴい

コープみえの事業、社会、環境活動の報告書です。
コープみえ SDGs 宣言に沿って 2020 年度の活動をまとめました。



2021 年 コープみえ
サステナビリティレポート

発行月：2021 年 6 月

お問い合わせ先

〒514-0009

三重県津市羽所町 379 番地

生活協同組合コープみえ 機関運営部

TEL 059-271-8507 FAX 059-222-5025

ホームページ <https://www.coop-mie.jp>

コープみえ 検索



資源や環境に配慮して、エコインキと再生紙を使用しています。
このサステナビリティレポートは、カーボンオフセットされています。
☆サステナビリティレポート1部のCO₂排出量は約266gです。



コープみえの事業・組織、組合員活動、社会貢献活動・環境の取り組みについて報告しています。
報告対象期間を 2020 年 3 月 21 日から 2021 年 3 月 20 日の期間とし、コープみえの活動のほか、関連する東海コープ事業連合の活動、情報を含んでいます。

コープみえの理念

みんなの願い 基本理念

つながりあう安心 笑顔が輝く暮らし

人が地域で協同する暮らしづくりをすすめ
平和な社会を未来に引き継いでいきます

サステナビリティレポートの 発行にあたって

2021年6月

生活協同組合コープみえ 理事長 すずきとしひこ 鈴木 稔彦

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

関係者の皆様にこのサステナビリティレポートを通して、コープみえの1年間の社会的な活動についてご報告致します。2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が続き、社会全体と一人ひとりの暮らしに大きな影響を及ぼしてきた1年でした。コロナ禍に向き合いながら組合員はじめ皆様とともに取り組んできましたことをまとめています。

私たち生活協同組合（生協）は、消費者が暮らしの全般にわたって協同の輪を広げ、暮らしの願いを実現し、暮らしをよりよくしていくことを目的とした助け合いの組織です。コープみえは「つながりあう安心、笑顔が輝く暮らし」の基本理念のもと、組合員の暮らしの向上と、誰もが安心してらせる社会

をめざして、さまざまな事業をすすめてきました。また、コープみえ「SDGs 行動宣言」に基づき、誰一人取り残さない持続可能な社会につながる多様な取り組みを、組合員をはじめ、地域の皆様とともにひろげすすめてきています。

平和な社会を未来に引き継いでいくため、暮らしの願いに応える取り組みを一層強めていく所存です。引き続き皆様のご指導ご援助をどうぞよろしくお願い致します。



コープみえの事業

宅配事業

毎週1回、決まった曜日に指定された場所に商品をお届けしています。商品の受取方法は、暮らしに合わせて、グループ購入、コープ宅配、ステーション購入から選んでいただけます。商品の主な仕入先は東海の3生協（コープあいち、コープぎふ、コープみえ）で作る東海コープ事業連合です。



店舗事業

みやがわ店（伊勢市）とまつさか店（松阪市）の2店舗があります。組合員にとって必要なお店、私のお店と思ってもらえる店づくりをすすめています。



福祉事業

「安心」「笑顔」「健やか」「想い」「共有」を大切に、利用者一人ひとりに合った自立をめざしたサービス提供に心がけ、福祉サービスをすすめています。



くらしの事業

くらしに役立ち、より豊かにするために、夕食宅配、葬祭、宅配灯油、共済、すまいの事業、その他の斡旋サービス事業などをすすめています。



■組織の概況（2021年3月20日現在）

名称	生活協同組合コープみえ
設立	2003年3月21日
本部所在地	三重県津市羽所町379番地 TEL 059-271-8500 (代表) https://www.coop-mie.jp
事業エリア	三重県一円
組合員数	201,181人
出資金(1口千円)	44億7,900万円
組織率	26.7%
役員	理事23人 監事5人
職員数(出向者含む)	ゼネラル250人 ジョブ273人
子会社 スマイルサービスみえ	事業高 1億7,884万円(1月末現在)

■事業所・事業内容

宅配事業 9センター	桑名、四日市、鈴鹿、津宅配、津南、松阪、紀北、伊勢、伊賀
ステーション	全県36箇所
店舗事業2店舗	まつさか店(松阪市)、みやがわ店(伊勢市)
福祉事業1事業所	福祉サービスセンター松阪(松阪市) 事業内容：通所介護事業、 居宅介護支援事業、訪問介護事業
その他事業	共済事業(受託)、夕食宅配事業、 斡旋サービス事業

■経営状況 2020年3月21日～2021年3月20日(単位：千円)

総事業高	243億8,595万円
供給高合計	237億4,605万円
利用事業収入	1,914万円
福祉事業収入	3,897万円
その他事業収入	5億8,177万円
事業総剰余金	56億4,807万円
事業経費	47億2,319万円
事業剰余金	9億2,489万円
経常剰余金	9億8,254万円

■関連組織紹介

生活協同組合連合会 東海コープ事業連合	株式会社 東海コープ 安全運転センター	株式会社 スマイルサービスみえ
------------------------	------------------------	--------------------

東海3生協（コープあいち、コープぎふ、コープみえ）が共同出資し、損害保険代理事業、生命保険募集に関わる業務、運転実技研修の実施、教材の企画制作、運輸教育に関わる受託業務等を行っています。

SDGs の概要と行動宣言 (7つの取り組み)

コープみえは、2020年度基本方針の柱の1つとして「SDGsの達成に向けて」を位置づけ、コープみえSDGs行動宣言をもとに活動をすすめてきました。

職員からのSDGsへの想い 〈職員のSDGsの理解やひろがり〉

職員のSDGsへの理解が少しずつすすんできました。
日頃感じているSDGsへの想いを聞いてみました。

組合員のSDGs学習会を各地で開催

四日市センター 田端恵子
新型コロナウイルス感染症の影響で行動範囲が狭くなりましたが、そのようななかでも行政訪問や諸団体との懇談を積極的にすすめました。高齢化で自治会自体が機能していない地域の居場所づくりや、世代を超えた集いの場で組合員が活動できるように努めたいと思います。

桑名センター 葛原佑規
海が好きで志摩市の国府の浜によく行きます。北海道の野付漁協の研修に行った際に、植樹することで海も森も守られていることを学びました。エコドライブにも意識して取り組んでいます。

伊勢センター 川喜多正之
父が手術をしてリハビリ中です。福祉に携わっている方を尊敬しますし、福祉の視点を持って日々取り組んでいきたいです。組合員さんの中にも同じような状況の方がおられ、体験談を話すことで気持ちを和らげられたらと思います。

エリア会ではSDGsの理解を深めようと各地域で学習会が開催され、食品ロスや環境の問題など、くらしの身近な問題のところから一人ひとりが行動していきたいことやみんなで考えていきたいことを交流し、深めました。

宅配事業推進課 北村美晴
新型コロナウイルス感染症の影響で、利用再開を考える方の電話を多く受けました。ところが欲しい商品が欠品、おわびばかり…組合員さんのお話をとにかく聴き、お困りのことに共感して、おわびを真摯にすることを心がけました。エシカル商品を愛用しています。

福祉サービスセンター松阪 中川輝美
住み慣れた地域でいつまでもくらし続けていただけるように地域の方に必要とされるデイサービスでありたいですね。地域の方にデイサービス松阪を知ってもらってもっと利用してもらえるといいなと思います。

鈴鹿センター 中川理子
沖縄・恩納村での研修に参加して、もずくの選別や、もずくの生育に必要な海の環境を守るためのサンゴの植え付けを体験しました。もずくを使った料理もつくって試食して、もずくの美味しさを実感しました。利用1点につき1円をサンゴの植樹活動資金として役立てられています。



まつさか店 小林佳恵
ウミガメの鼻にプラスチックのストローが刺さってしまったニュースを見て胸を痛め、プラスチック容器削減に努めています。買い場には紙製のストローを置いています。使い捨てない布製のマスクを置きたいですね！

紀北センター 岩本信子
未来の子どもたちにクリーンな地球を残していけるように、地球温暖化や大気汚染などの対策を推進してほしいなと思っています。家では、洗剤はなるべく使わず廃油とEM菌で作った自作の手づくり石鹸を使っています。

仲間づくり・共済部 喜多洗平
エコバッグの利用やお茶は水筒で持ってくること、業務ではチラシやパンフレット、物品を大事に扱い、無駄使いしないなどエコやリサイクルから資源を大切にすることを意識して取り組んでいます。

参加者の声.....

- ・ 昨年の学習会では、「SDGsはスケールが大きく壮大なイメージ」だなあと感じましたが、今回身近な話題を提供いただいたので、とても身近に感じました。
- ・ 食品ロス削減の問題やこれまで生協が取り組んできた活動が、SDGsの何番の目標（ゴール）につながっているのかがよくわかりました。
- ・ 意識を変えることはできそうですが、行動に移すことがなかなか難しいですね。でも私にもできそうなことがいろいろありました。
- ・ ダイバーシティ（多様性）についての日本の状況や課題も紹介いただいて学びました。ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のめざすこととのつながりがよく解りました。

「コープみえSDGs行動宣言」～SDGsを実現するための7つの取り組み～

SDGs（持続可能な開発目標）を組織と地域の中にひろげあい推進します。

私たちコープみえは、「つながりあう安心 笑顔が輝くくらし」の基本理念のもと、組合員との絆を大切に、地域や行政・諸団体、メーカー・生産者と連携し、これまでもSDGsに関わる諸課題に取り組んできました。これまでの運動や活動の価値をみんなで確かめ合い、引き続き協力の力で、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献していきます。

- ◆ 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方の見直し活動
- ◆ 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーの利用・普及活動
- ◆ 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進
- ◆ 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進
- ◆ 誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりへの参加
- ◆ 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動の推進
- ◆ ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりの推進

SDGsとは

SDGs（エス・ディ・ジーズ）とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ（行動計画）」に記載された、国際的な取り組み目標である「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略です。持続可能な世界を創出するために、2030年までに全ての国や地域で取り組むべき17の目標とそれを達成するための169の具体的な取り組み内容、取り組みの成果を計るための232の指標で構成されています。



新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた生産者を支援

余った牛乳の利用のお願いを呼びかけました！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校給食が休止になったことにより牛乳が余ってしまう事態になり、組合員みなさんに牛乳の利用を呼びかけました。その後、問い合わせや追加注文をたくさんいただき、生産者をまもるために組合員と職員が一丸になり利用結集の取り組みをすすめました。



TV取材も受けました

コロナ禍の中での宅配事業、店舗事業の奮闘や課題

新型コロナウイルス感染症の影響により物流の量が大幅に増加し、多くのご注文をいただいているにもかかわらず、抽選・欠品となる商品が増えて組合員のご要望に応えられないことが続きました。一方で、「玄関先まで届けてもらい、宅配をしていて良かった。店舗があって良かった」という感謝の言葉もたくさんいただきました。



＜組合員から寄せられた声＞

- トイレットペーパーがなくなりそうです。いつも抽選漏れです。どうにかありませんか？
- 安全安心な生活を守ることがコンセプトの生協だと思います。ほしい人にマスクが渡るよう努力していただきたいと思います。
- スーパーへ買い物に行くと、すごい人で商品をたくさんの人に触れられて買ってくるのが怖い感じがします。生協で頼んで家まで届けていただけなので、今は生協に入っていて良かったとあらためて実感しています。
- 注文量が大幅に増えて、職員さんたちは大変ですね。感謝します。CO・OPが自分の生活の味方になってくれていると話すが、まわりにたくさんおられます。



100通を超える励ましの言葉が！

組合員みなさんから生産者に向けて、100通を超える励ましの言葉をいただいたので、生産者にお届けしました。

＜組合員から寄せられた声＞

- 子どもがせいきょう牛乳おいしいと喜んでます。これからもおいしい牛乳を届けてください。がんばってください。
- 大喜びで飲んでます。応援していますから頑張ってください。家族みんなが牛乳で育っています。
- 実家が牛乳を生産する仕事をしています。牛はとても大切な存在です。大変な時期ですが生産者のみなさまもなんとか乗り越えてください。

＜職員からの声＞

- 配達で事情をお話したら、1本追加や新規で注文いただきました。私たち担当者も声がけしますので、頑張りましょう。



＜生産者より＞

ご支援いただきました皆様へ心の「ほっとミルク」をありがとうございました。

2020年3月、学校給食が突然停止になり生乳の先行き真っ暗だったとき、皆様からご支援のお声がかかりました。その声を生産者、工場関係者につたえると、「大切な生乳を廃棄しなくても？なんとかなるかも？」一同「瞳から喜びがこぼれる」気持ちで、勇気付けられました。

行先を失った生乳の場所を探していただき本当にありがとうございます。現在は、タンクから溢れることなく製造が続けられています。皆様のお力で立ち直ることが出来ました。「病は心(き)から」をあらためて感じています。また、メッセージをくれた方々の誠実さやあたたかい言葉に感動！！

まだまだ不安な日々が続きますが 皆様のご健勝を心よりお祈り致しております。

今後ともよろしく願いいたします。

有限会社四日市酪農 従業員一同



コープみえが コロナ禍で果たすべき役割を考えて



専務理事 鈴木克彦

2月頃から急激に利用が高まり、4月中旬～5月上旬をピークに前年比・予算比ともに120%を超える供給状況になりました。マスクや紙類、除菌関連商品をはじめ、ピーク時以降は多くの商品が抽選や欠品の対象になり、利用された方に多大なご迷惑をおかけしました。また、新規の加入や利用再開の受付もお待ちいただく状況まで宅配ニーズが高まりました。その対応に追われる職員にも大きな負担がかかりました。

現場の地域担当者からは「配達が大変なのは我慢できるけど、組合員の期待に応えられないことが一番つらかった」という声が上がりました。抽選や欠品で商品が届かないことに対して、「なぜもっと早く連絡をしてくれないのか」というご意見がある一方で、担当者へのねぎらいの言葉や励ましのお手紙もたくさんいただき、協同することの意味を改めて考える機会となりました。

商品在庫を抱える 県内の大学生協を応援

新型コロナウイルス感染症の影響で、三重県内の3つの大学生協では休校やWeb授業により登校する学生が減少し、商品在庫を抱えて困っていました。三重県生協連の呼びかけに応じて、コープみえの役職員が商品を購入して応援しようと、昼休みに在庫商品の販売会の開催や弁当注文を行い、生協間連帯で応援しました。



各地で社会福祉協議会と連携して生活困窮者自立支援

新型コロナウイルス感染症の影響は、社会的弱者と言われる方々の生活を直撃しました。会社の倒産や営業自粛による解雇などにより、非正規労働者やシングルマザー、外国籍の方などを中心に生活に困窮される方も増加しました。コープみえでは、各地域の社会福祉協議会と連携して生活困窮の方々に食品を提供する活動をすすめました。



伊勢市社会福祉協議会 あゆみフードチョイス

こども食堂「りんごの家」主催のフードパントリーに食品を提供

鈴鹿市のNPO法人 shining が運営するこども食堂に、食品を提供するようになって3年になりますが、コロナ禍で食堂の開催ができなくなりました。学校にも遊びにもなかなか行けない子どもたちと、昼ごはんは大変なご家族に少しでも元気を届けようと、フードパントリー（食品の無料配布）が実施され、コープみえからも食品を提供しました。



地域と連携して実現した取り組み

松阪市社会福祉協議会「あったかごはんプロジェクト」に食品を提供！

炊き出しによる食品の提供を通じて、生活にお困りの方を支援する「あったかごはんプロジェクト」に飲料、菓子、レトルト食品などを提供し、当日は100名を超える方々にお渡しすることができました。



伊勢市社会福祉協議会に食品を提供！

伊勢市社会福祉協議会「生活サポートセンターあゆみ」が実施する、支援事業「あゆみフードチョイス」にコープみえから食品を提供。生活にお困りの子育て世帯に活用していただきました。



牡蠣養殖の技能実習生のみなさんに食品をお届け！

技能実習で来日中の中国人実習生たちが新型コロナウイルスによる国際線の旅客便の運航停止等の理由で母国に帰国できない状態に陥りました。牡蠣養殖のシーズンも終わり、収入のあてもない中で生活困窮状態になる中、鳥羽市社会福祉協議会を通じて精米、カップめん、飲料などを提供しました。



「子どもの貧困問題から考える心の貧困」講演会の開催！

G-Up Coaching 代表 葛巻直樹氏を講師にオンライン受講含め48名が参加して開催されました。7人に1人が相対的貧困といわれる今、子どもの貧困が人間形成に大きな影響を与え、将来に大きな影を落とすことなどが話されました。



伊賀市・名張市の社会福祉協議会に緊急食糧支援！

新型コロナウイルス感染症の影響で、貸付金が届くまでの期間の食べ物も手に入らない方が増加しました。注文間違い等でお届けできなかった良品の生協商品を、両市社協を通じて生活福祉資金貸付制度の利用者や生活困窮者の方々に提供されました。



尾鷲市社会福祉協議会に食糧支援！

コープみえと尾鷲市社会福祉協議会の『生活困窮者等支援事業の連携に関する協定』が7月に発効しました。それを受けて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などで、日々の暮らしにお困りの方のお手元に社会福祉協議会を通じて商品をお届けしていただきました。



「生活困窮者対策支援事業の連携に関する協定」伊賀市、名張市、尾鷲市の3市と新たに締結！

生活困窮者支援の協定一覧

津市社会福祉協議会
伊勢市社会福祉協議会
鈴鹿市社会福祉協議会

四日市市社会福祉協議会

伊賀市社会福祉協議会 2020年度締結
名張市社会福祉協議会 2020年度締結
尾鷲市社会福祉協議会 2020年度締結



「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」に 1000万円の寄付金贈呈

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、過酷な状況で従事する医療従事者の方々や、社会の経済活動が大きく低迷している中で、子ども・学生や高齢者、障がい者、外国人など社会で弱い立場にある方々を応援するため三重県が実施している「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」。それらのみなさんの環境改善に役立てていただけるよう寄付金をお贈りしました。地域の一員として、行政、諸団体と連携、協力し、地域に根ざした事業、活動をすすめています。

寄付先一覧と金額

寄付先名称	寄付金額・物資等
三重県 「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」	1,000万円
「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援事業」	300万円
ユニセフ「新型コロナウイルス感染症緊急募金」	100万円
赤い羽根共同募金	総額 290万円 (1市町あたり 10万円)
三重県社会福祉協議会	PET ボトル お茶 120 ケース (144,000円)



メーカー、生産者とのパートナーシップ 地産地消

お米づくりの体験を通じて、お米の大切さ、食文化について学べるよう JA 津安芸と JA いがふるさとの交流田で毎年開催しているお米づくり収穫体験。



今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、組合員の参加はありませんでしたが、9月の収穫は職員が稲刈りをして、皆さんに動画で配信しました。

エシカル消費

●コアノンスマイルスクールプロジェクト

コアノンシリーズ 1 パック購入につき 1円が、ユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付され、子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われています。2020年度の寄付額は全国の生協全体で 11,181,240円、東海3生協で 951,822円でした。これまでの累計では 1億 1600万円を超えました。



●ピンクリボン運動キャンペーン

コープ化粧品 1点購入につき 1円を認定 NPO 法人 J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に寄付しました。2020年度の寄付額は、生協全体で 1,101,609円、東海3生協で 90,193円でした。



●うなぎ資源対策協力金の取り組み

シラス資源減少から「絶滅危惧種 1B 類」に指定されたニホンウナギ。国産ウナギを継続的に利用できるように、ウナギ対象商品 1点購入で 3円の寄付金とし、集まった寄付金は、うなぎ放流活動等の資源対策の活動につながっています。



2020年度寄付総額（東海3生協） 157,609円

●CO・OP × レッドカップキャンペーン

対象商品購入 1点につき 1円が国連 WFP を通じて寄付され、飢えに苦しむ子どもたちに学校給食を届ける活動に使われています。2020年度の寄付額は、生協全体で 5,047,714円、東海3生協で 565,894円でした。



〈おうちで生協キッチン〉

～浜の母さん料理教室～
秋鮭の美味しいこの季節に開催される野付漁協・北海道漁連の「浜の母さん 料理教室」。今年は新型コロナ感染拡大予防のため開催できませんが、毎年教えていただく美味しいレシピを YouTube で紹介しました。



昨年度の模様

「新型コロナ克服 みえ支え“愛”募金」 寄付金贈呈式が行われました！

10月30日（金）三重県庁にて、三重県より鈴木英敬知事、戦略企画部 福永和伸部長、コープみえから鈴木稔彦理事長が出席し「新型コロナウイルス克服 みえ支え“愛”募金」寄付金贈呈式が行われ、コープみえから1000万円の寄付金を贈呈しました。



コープみえ理事長 鈴木稔彦

コープ宅配は、このコロナ禍でみなさんが安心して買い物に出掛けられないなかで、これまでにない期待を集め、需要が急激に伸びました。宅配が便利というだけでなく、コープみえが積み重ねてきた、つながりあい、支えあいといった取り組みがみなさんにご理解いただけたことと感じております。学校が休みになり、給食がなくなり、牛乳が行き場を失ってしまったときに、組合員のみなさんが声を掛けあい、牛乳をたくさん利用して生産者を応援しようという取り組みもありました。この支えあいから生まれたこの利益の一部をコロナ禍で困難な方々のために活用いただけたらと思っております。



三重県知事 鈴木英敬

この新型コロナウイルス克服 みえ支え“愛”募金に協力いただき感謝します。このコロナ禍では、弱い立場のみなさんにし寄せがいく、という特徴がありました。こういった弱い立場の方々の支援に大いに活用したいと考えております。生協の需要が伸びたのは、商品、食というだけでなく、人と人がつながりあい、支えあう取り組みが不安の中でも信頼につながったのだと思っています。こういう時代だからこそ、つながりあい、支えあう取り組みにこれからも尽力いただきたいと思います。



地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーの利用・普及活動



環境保全活動

〈白塚海岸の清掃活動〉

MJC（三重県協同組合連絡協議会）のよびかけに応え、白塚海岸の清掃に職員が参加しました。海岸は連日の大雨で流れ着いた流木の合間に細くなった食品トレーやプラスチック片が散在。このようなマイクロプラスチックが環境汚染や生態系へ悪影響をおよぼしています。コープみえの商品案内では脱プラ・減プラの表示が7月から始まり、プラスチックの使用量削減に取り組んでいます。



〈グリーン購入キャンペーン〉

東海三県一市で環境への負荷が少ない商品を選び利用しようグリーン購入キャンペーン。コープみえではキャンペーン期間中、店舗でコープの環境配慮商品をPRし環境にやさしい商品のご利用を呼びかけました。環境配慮型商品の利用を通じて、持続可能な社会づくりをすすめています。



組合員の声

- ・温暖化が環境問題が本当に深刻になっていますね。これからも意識して利用するようにします。
- ・いろんな環境マーク（ラベル表示）の意味や内容をちゃんと知るようにしていきます。

〈エコ川柳〉

エコ川柳は、家庭や身近な場所で環境保全活動をすすめるエコファミリーメンバーの組合員から寄せられました。

- ・せまくとも 湯たんぽがわりの 子と添い寝
- ・コロナ禍で ムダな買い物 自粛中
- ・エコバック かわいいからと 買い集め
- ・巣籠りで 思い新たに エコ活動
- ・コロナ禍で 外出控え 給油減る
- ・湯たんぽは 今年もカツヤク 節電に
- ・おこもりで エコな生活 板につく
- ・コロナ禍で エコにめざめた 子どもたち



地球温暖化防止活動

〈環境活動パフォーマンス報告〉

コープみえは、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001にもとづき環境負荷低減の取り組みを行っています。また、組合員や地域・諸団体とともに、生物多様性保全、地球温暖化防止に向けた環境活動をすすめています。日常的な省エネ活動や、夏場のエコスタイル、室温の温度管理、ノー残業デーやライトダウンの実施に取り組んでいます。

〈環境保全と防災拠点 新松阪センターが開所〉

大規模災害が発災した際の事業継続に重点を置き、非常用電源と災害備蓄用倉庫、太陽光発電、給油スタンドなどを設置した新松阪センターが開所しました。また、電気で作るミニキャブ・ミーブ バンが納車されました。CO₂排出削減に向けて、次世代車両（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）への切り替えを積極的にすすめていきます。



CO₂ 排出量削減に向けた環境負荷低減の取り組み



〈リサイクルを促進するエコセンター〉

エコセンターは、2016年に稼働し、コープぎふ・コープあいち・コープみえと東海コープで、循環型環境社会の実現への貢献をめざしリサイクルを推進しています。配送センターで回収している使用済みの商品案内やたまごパックを集積・圧縮して、環境資源として出荷しています。

	2017年	2018年	2019年	2020年
商品案内書の回収	2,045t	2,228t	2,147t	2,014t
内袋の回収	35.2t	43t	34t	37t



2020年度 寄付金贈呈実績

申請件数	12団体
寄付贈呈件数	7団体
贈呈総額	378,351円

世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進



〈店舗食品ロスキャンペーン (みやがわ店で連れてってキャンペーン)〉

「食品ロス削減」の取り組みとして伊勢市が市内の店舗に呼びかけ「すぐ食べるならつれてってキャンペーン」を開催。消費期限が近い値引き商品などに景品あたり付きシールを貼り、組合員と一緒に食品ロス削減をひろげあいました。



〈食品廃棄の問題学習会を開催〉

地球環境と私たちが毎日食べる食品を通じて発生している食品廃棄の問題学習会。(三重県生協連主催) 三重県環境学習情報センター前センター長 佐野正和氏をお迎えして、入場制限を行い開催しました。



〈ユニセフ募金〉

新型コロナウイルス感染症の被害が拡大し続けるなか、ユニセフは、国際的なワクチン調達の手組み「COVAX ファシリティ」のパートナーとともに、参加国へのワクチン供給業務や低温物流システムの整備、医療器具の提供など重要な責務を担いました。コープみえでは、コロナ緊急募金、お年玉募金等に取り組みました。



©UNICEF/UN041502/wilander

ユニセフ募金総額	5,336,264 円
内訳	
お年玉募金	2,278,529 円
総代会募金	10,380 円
コロナ緊急募金	2,991,355 円
ハンド・イン・ハンド募金(オンライン)	56,000 円

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進



〈ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ オンライン開催〉

平和を願う活動・原爆の日、終戦の日によせて、ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキがオンライン開催されました。配信にあわせて、アスト津にてパブリックビューイングを行いました。



〈核兵器禁止条約発効記念のつどい〉

三重県生協連主催の核兵器禁止条約発効記念のつどいが1月23日に開催され、オンライン参加を含め110名が参加。核兵器のない世界の実現にむけた思いをひとつにし、核兵器廃絶への決意を新たにしました。



誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりへの参加



地域の見守り活動

コープみえの宅配や夕食宅配のお届けが定曜日・定時間、同じ職員が対応することを活かした見守り活動を実施しています。夕食宅配では、前日のお弁当が未開封の場合、ご本人に連絡します。ご本人と連絡が取れない時は、事前に登録していただければ連絡先にお電話させていただき対応をすすめています。



〈見守り事例紹介〉

宅配での事例

「配達時の異変に気づいて
取った行動」

鈴鹿センター
トランコム社担当者 舘 勇介



毎週チャームを押すと、出て来て頂ける高齢の組合員のお宅ですが、その日は返事がなく、奥の方で「うっ」という唸り声が聞こえた為、玄関ドアを開けてみると、階段付近に倒れていました。足首は大きく腫れており、救急車を呼ぼうとしたところ、「近所の目があるから・・・」と拒否されました。ご家族である娘様の住所を聞き取り、15分ほどの距離にあるその住所に向かいました。娘様に事情を説明して、組合員宅に戻りました。その後、娘様と組合員が病院に行くのを見送り、配送業務に戻りました。

夕食宅配での事例

「利用者のご家族から感謝の手紙が届きました」

先日は母が室内で倒れており、生協さんからのご連絡をいただければ、大事になるところでした。母は入院することになり、お弁当はストップさせていただきますが、このご恩は忘れません。退院した際にはご連絡いたします。本当にありがとうございました。



夕食宅配食数の推移 (1日あたり食数)

〈各地の市町と「高齢者等の見守りと支援に関する協定」を締結〉

2020年の見守り協定は7市町と締結し、のべ20市町との締結にひろがりました。

協定締結市町一覧

- ・四日市市 ・度会町 ・津市 ・東員町 ・名張市
- ・明和町 ・松阪市 ・伊勢市 ・桑名市 ・鈴鹿市
- ・亀山市 ・尾鷲市 ・多気町 ・熊野市 (2020年度締結)
- ・大台町 (2020年度締結) ・木曾岬町 (2020年度締結)
- ・朝日町 (2020年度締結) ・南伊勢町 (2020年度締結)
- ・紀宝町 (2020年度締結) ・御浜町 (2020年度締結)



誰もが安心して暮らし続けられる 地域社会づくりへの参加



〈ベスト消費者サポーター賞の受賞〉

消費者支援功労者表彰の「ベスト消費者サポーター賞」を受賞しました。この表彰は、消費者庁が消費者利益の擁護・増進のために各方面で活躍している団体・個人を表彰する制度で、コープみえのこれまでの活動が評価されました。



〈安全運転の取り組み〉

「安全を第一に考える人づくり」をめざし、安全運転トレーナー会議を各事業所で開催し、交通事故防止運動の取り組みなど、安全運転教育をすすめています。また、生協車両運転認定制度に基づき、職員の状態にあわせた訓練指導を実施しています。

事故発生推移表

年度	発生件数
2017年度	95件
2018年度	84件
2019年度	89件
2020年度	63件



震災支援・災害支援

発災時から被災者に寄り添い、息の長い支援活動をすすめてきました。また、災害に備えて、自治体との災害協定や事前訓練に取り組んでいます。

〈福島県 夜の森さくら植樹（新松阪センター）〉

コープみえは、東日本大震災と原発事故の被災地である福島県との交流・復興支援を続けています。福島県富岡町にある「夜の森」のソメイヨシノの苗木をいただき、松阪センターの移転にともない「夜の森」のさくらを植樹しました。



〈桑名市防災拠点施設運用訓練に参加〉

「災害時における物資供給及び物資配送に関する協定」を桑名市と締結しており、3月7日の施設運用訓練に参加しました。訓練は南海トラフ地震が発生した場合を想定して行われ、桑名市からの要請を受けて支援物資の輸送受け入れを行う訓練を実施しました。



災害時における物資供給及び物資配送に関する協定締結市町一覧

- ・桑名市 ・津市 ・鈴鹿市 ・松阪市 ・尾鷲市
- ・名張市 ・伊賀市 ・いなべ市

〈2020年7月 豪雨災害支援募金〉

7月の豪雨は各地で大きな被害をもたらしました。支援募金の取り組みでは、宅配事業および店舗事業や福祉事業、各事業所で総額7,539,195円が集まりました。日本生協連を通じて、山形県、長野県、岐阜県、島根県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県の9県に配分され、被災地支援のために活用されました。

支援募金・応援募金

東日本大震災復興支援募金 (2020年3月21日～ 2021年3月20日現在)	1,435,759円
2020年7月 豪雨災害支援募金	7,539,195円

〈「FOR子ども支援基金」贈呈〉

東日本大震災および原発事故により愛知、岐阜、三重に避難している18歳未満の子どもたちを対象に、子どもたちが夢を叶えるために必要な学用品や楽器、スポーツ用品等を贈呈する取り組みに賛同し、10万円の協賛を行いました。コープみえは2016年からこの支援基金に寄付しています。



昨年度の贈呈式の模様

健康づくりの取り組みを広げ、 福祉事業・助け合い活動の推進



福祉・助け合いの活動

〈福祉活動寄付金を8団体に贈呈〉

地域の福祉活動団体に上限10万円までの寄付を行っています。今年は38団体からの申請があり、8団体に寄付金を贈呈しました。新型コロナウイルスの影響により交流会は見合わせましたが、団体のみなさんからたくさんのメッセージをいただきました。

昨年度の交流会の様相



●点訳グループ ともしび（鈴鹿市）

視覚障がい者の福祉増進のため、一般図書を読み取り、社会的連帯感を助長、ともに生きがいを求める活動をしています。



●わくわくフレンズ（桑名市）

子ども食堂を開催しています。誰もが集える交流の場を提供できるよう活動を続けています。



〈三重県社会福祉協議会へ寄付金を贈呈〉

三重県社会福祉会館にて贈呈式が行われ、赤い羽根共同募金にお寄せいただいた募金と、店舗募金箱にいただいた募金にコープみえからの寄付金290万円を合わせ、地域福祉に役立てていただけるようお贈りしました。寄付金額：3,262,841円



〈くらしすけあいの会〉

困った時はおたがいさまの精神で、組合員が行う有償の福祉活動です。2020年はコロナ禍のなかで一時活動を休止した時期もありましたが、高齢の方や障がいのある方、産前産後や子育て家庭、病気やケガでお困りの方などへ掃除、洗濯、買い物、食事づくり、話し相手、ご家庭での託児など行いました。



〈検査センターの取り組み〉

東海コープ商品検査センターでは、組合員からの出資金をもとに検査体制と検査設備、検査項目の充実を図っています。生協で企画している商品の指標微生物や残留農薬、食品添加物、放射性物質などの検査を実施し、安全品質を確保する取り組みをすすめています。



2020年3月21日～2021年3月20日

	実施	適合率
微生物検査	9,064件	95.1%
残留農薬検査	351件	99.4%
食品添加物	113件	100%

- ・放射性物質検査は73件実施し、検出限界値を超える検出はありませんでした。



ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりの推進



誰もが働きやすい環境づくり

〈アビリンピック『障がい者技能競技大会』に職員が参加〉

障がい者技能競技大会に職員がパソコン文書作成部門で出場し、2位「優良賞」を受賞しました。



職員(杉田凜花)の感想

初めての参加で、とても緊張しました。結果は優良賞でした。負けず嫌いなこともあり、嬉しいような悔しいような…課題も見つかったので復習して来年は優秀賞、1番をとりたいです。



〈障がい者雇用の取り組み〉

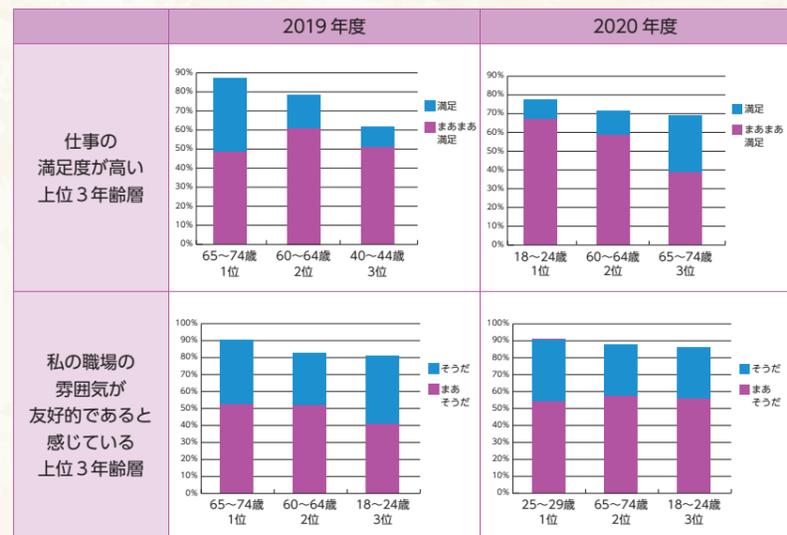
- 各事業所にて特別支援学校から延べ8名を職場体験実習として受け入れを行い、うち就職を希望する2名をジョブサポート職員として採用しました。
- 誰もが働きやすい職場としてバリアフリー化をすすめています。2020年度は、本部1階の女性用トイレをバリアフリートイレ(多目的トイレ)に改修しました。



消防訓練時の模様

〈ストレスチェックの実施〉

全職員を対象に毎年ストレスチェックを実施しており、2020年度の結果が出ました。「仕事の満足度が高い年齢層」は、18歳～24歳が1位。「私の職場の雰囲気」が友好的であると感じている年齢層」1位は、25歳～29歳と若い年齢層が上位になりました。「働きがいが高い」、「活気が高い」についても若い世代が上位の傾向がみられました。コープみえの特徴は、高年齢層の仕事満足度が高い傾向ですが、2020年度は若年層、高年齢層ともにイキイキと働いている結果になりました。



コープみえの内部統制システム・第三者評価

内部統制システム

コープみえの機関運営と組織、内部統制・マネジメントの取り組み
コープみえは、生協法をはじめ関係法令及び定款等に則った機関運営や業務執行の強化に努めています。

機関運営と組織

最高決定機関である総代会での決定にもとづき理事会、常務理事会で日常執行がすすめられています。理事会の執行を監事会が監査し、決算会計については、監査法人による外部監査を実施しています。

内部統制活動

2020年度内部統制システム推進の基本方針にもとづき、内部統制活動をすすめてきました。

基本方針	2020年度の主な取り組み
1. 理事及び職員の職務の執行が、法令及び定款などに適合していくための体制を整備し、取り組みをすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> 法令等の制定、改正の情報収集や遵守監視・確認を毎月開催される内部統制推進委員会で共有してきました。 職員ハンドブックを全職員に配布し、周知・徹底をはかりました。 コンプライアンス及びハラスメントの管理者研修会を実施しました。また意識調査アンケートを実施し、各職場で調査結果の共有とまとめを実施しました。 通報・相談窓口の周知と対応をすすめ、内部・外部の相談窓口にて7件の相談がありました。
2. 生協の事業および財務の状況の情報開示、理事の職務執行に関する情報管理を適切に行う体制を整備し実行していく。	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護、機密情報管理の一般学習会を実施しました。 個人情報、機密情報の台帳メンテナンスや事故発生の監視と対応をすすめました。 パソコン管理基準にもとづくセルフチェック等を実施しました。
3. 事業の遂行の障害や損失の要因となる「リスク」を管理し、損失予防や緊急事態に備える体制を整備し、実行していく。	<ul style="list-style-type: none"> 重要リスク評価と重点リスクの特定と対応計画を作成し、内部統制推進委員会で確認してきました。 リスク管理の基本をテーマにズームによるリスクマネジメント研修会を開催しました。 事故・ヒヤリハットの事例の集約と予兆への予防対策を実施しました。 災害マニュアル、避難マニュアルの整備やMCA無線、緊急時の連絡網の訓練等が実施されました。
4. 理事および職員の業務の執行が効率的に行われるしくみや体制を整備していく。	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度の体制変更に伴い、規程集の更新、整備をすすめました。 内部統制に関するセルフチェックを実施しました。 ISO9001の運用のなかで、業務フローの見直しや業務改善等をすすめました。 内部統制の内部監査をMS内部監査と合同で、全部署で実施しました。
5. コープみえの関連する会社等における業務の適正を確保する体制を整備していく。	<ul style="list-style-type: none"> 関係会社管理規程にもとづき、関連会社となる(株)東海コープ安全運転センター、(株)スマイルサービスみえの総会への参加や対応をすすめました。
6. 監事監査および監査業務が実効的に行われる環境を整備していく。	<ul style="list-style-type: none"> 監事会と代表理事の定期懇談や経営組織監査を実施しました。

〈サステナビリティレポート第三者意見〉

「コープみえ SDGs 行動宣言 (P3)」に沿って幅広い活動が記載され、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念が感じられるレポートになっています。「特集 (P5～P10)」で書かれているコロナ禍での活動報告はその代表です。このような社会のニーズに寄り添う姿勢は、宣言に沿ったコープならではの活動であると感じられます。評価できる点は3つあります。一つ目は「職員からのSDGsへの思い(P3)」から、組織の1人ひとりの意識を持った行動がわかります。今後さらに思いが深く大きくなることを期待します。二つ目の「組合員のSDGs学習会(P4)」は、理解の促進には有意義な活動です。最後に「特集」や活動報告にある取り組みは、行動宣言に沿った活動だとわかります。組織全体への浸透と活動を通じた実践は、自分事としてとらえ行動につながる、SDGsの本質の1つです。新しい活動以外にも、環境保全活動や震災・災害支援など

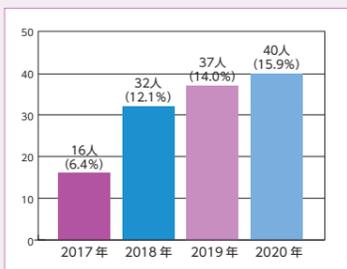
継続的な活動もされています。こうした活動は続けることで当初の思いなど薄れる部分が出てきます。活動の背景や活動を通じた変化などの可視化も大切です。可視化することで目的や意義が再確認され持続可能な活動になります。今後は、それぞれの活動の目標設定とその可視化を期待します。例えば、「特集」に目標を書き添えることで、組織が目指す社会へのメッセージ性が強くなります。このレポートは、コープみえに関わる全てのステークホルダーに向けたメッセージでもあり、誰一人取り残さない持続可能な社会につながる取り組みに期待します。



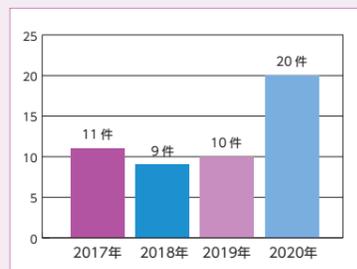
NPO法人Mブリッジ
(CSR検定合格者・第三者意見検討委員会 担当:石丸)

〈女性職員比率、労災事故発生件数、障がい者雇用率推移グラフ〉

女性職員比率の推移(ゼネラル・エリア職員)



労災事故発生件数の推移



障がい者雇用率 3年間の推移

